

CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観
建物名称	(仮称)健軍本町マンション 新築工事	階数	地上13F	
建設地	熊本市東区健軍本町351-1、351-3、	構造	RC造	
用途地域	下水処理地域、22条地域	平均居住人員	186 人	
気候区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年	
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2021年3月 竣工	評価の実施日	2020年1月16日	
敷地面積	1,172 m ²	作成者	柳田	
建築面積	236 m ²	確認日	2020年1月20日	
延床面積	2,340 m ²	確認者	橋本	

1 CASBEE評価結果

■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

★★★★★

BEE = 1.0

■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$

■環境効率評価基準

ランク	ランク表示	評価	判定値	
			BEE値	Q値
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—
C	★	劣る	0.5未満	—

■ライフサイクルCO₂排出性能(ランク表示)

☆☆☆☆☆

排出率

80%

■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準

判定値(排出率)	ランク表示
30%以下	☆☆☆☆☆
30%超60%以下	☆☆☆☆
60%超80%以下	☆☆☆
80%超100%以下	☆☆
100%超	☆

2 熊本県重点評価結果

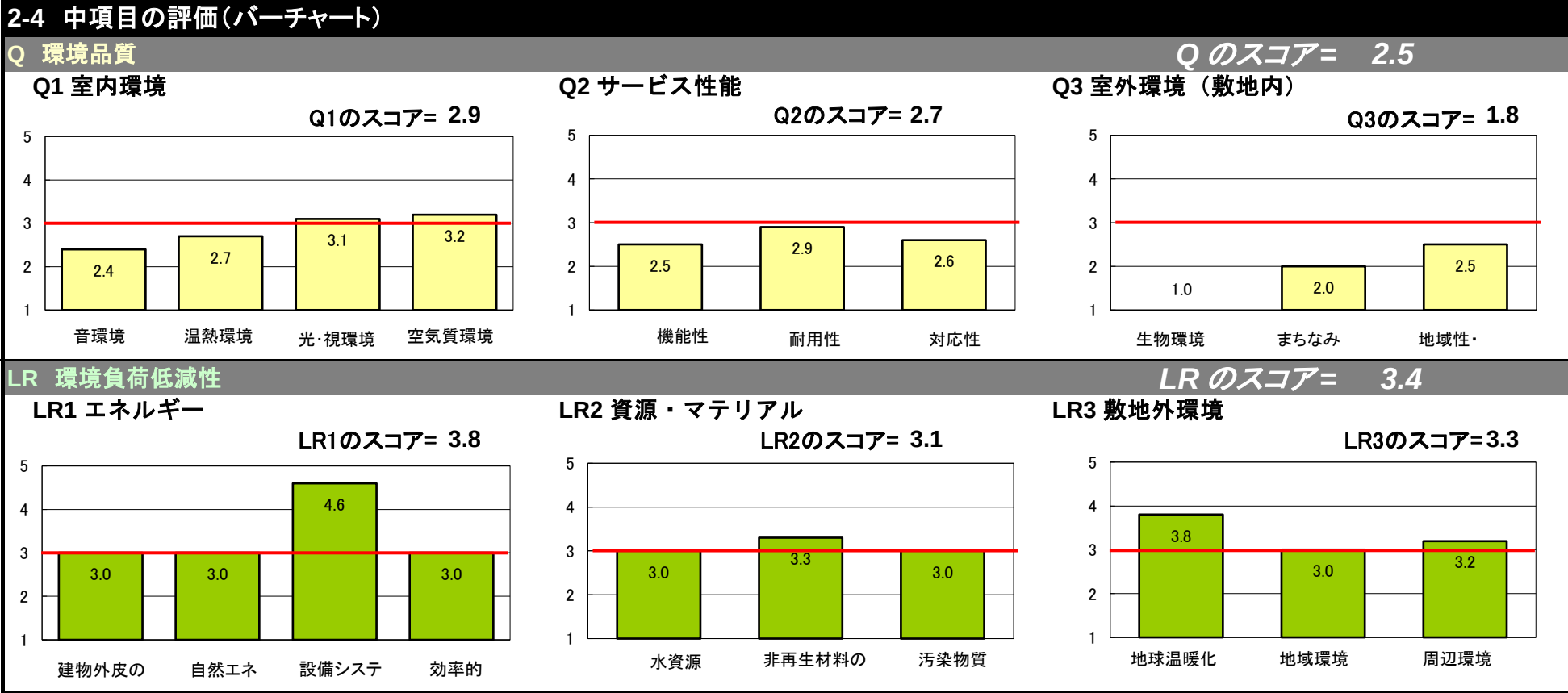
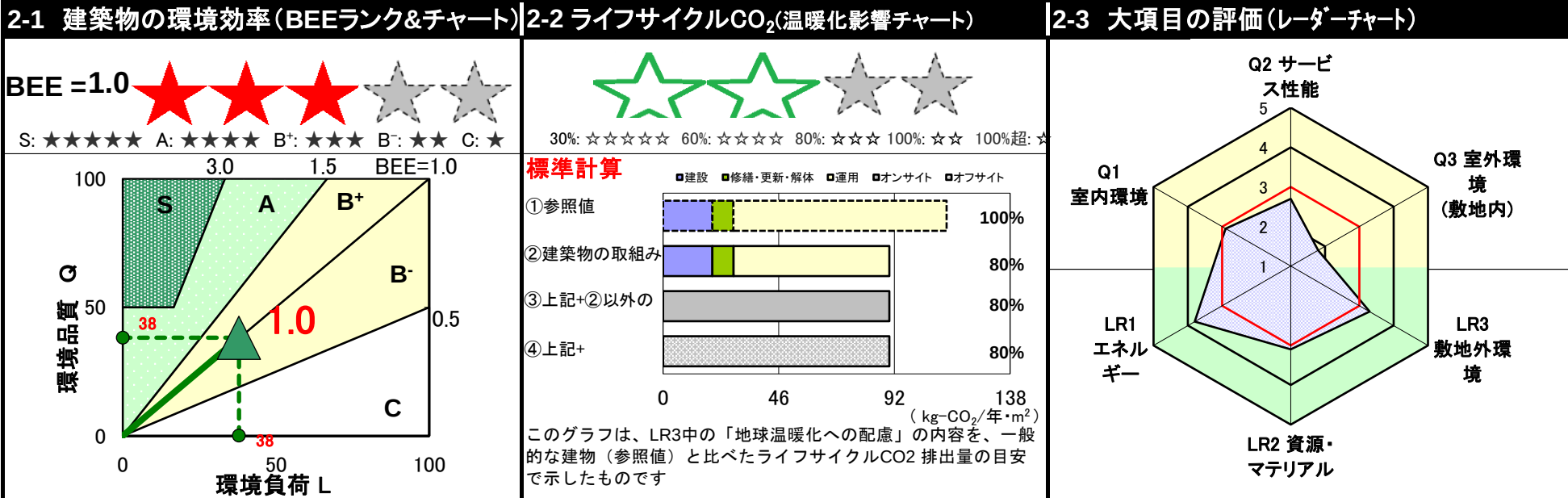
重点事項総合評価			評価点
  			74
	評価点	熊本県重点評価基準	
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進	80.7	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現	65.0	100点以上	    
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全	70.0	80点以上100点未満	   
【重点事項4】 循環型社会の実現	75.0	60点以上80点未満	  
		40点以上60点未満	 
		40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。			

CASBEE®-建築(新築)

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 I 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)健軍本町マンション 新築工事	階数		
建設地	熊本市東区健軍本町351-1、351-3、	構造		
用途地域	下水処理地域、22条地域	平均居住人員		
地域区分	7地域	年間使用時間		
建物用途	集合住宅	評価の段階		
竣工年	2021年3月 竣工	評価の実施日		
敷地面積	1,172 m ²	作成者		
建築面積	236 m ²	確認日	2020年1月20日	
延床面積	2,340 m ²	確認者		
			橋本	



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

スコアシート		実施設計段階				
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質						2.5
Q1 室内環境					0.40	2.9
1 音環境				2.0	0.15	2.4
1.1 室内騒音レベル		(共用部)エントランス:50dB(A) (住居部)住戸:40dB(A)		3.0	0.50	4.0
1.2 遮音				1.0	0.50	1.0
1 開口部遮音性能				1.0	1.00	1.0
2 界壁遮音性能				-	-	1.0
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	1.0
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	1.0
1.3 吸音				-	-	-
2 温熱環境				1.0	0.35	3.0
2.1 室温制御				1.0	1.00	3.0
1 室温				-	-	-
2 外皮性能				1.0	1.00	3.0
3 ゾーン別制御性				-	-	-
2.2 湿度制御				-	-	-
2.3 空調方式				-	-	-
3 光・視環境				3.0	0.25	3.1
3.1 昼光利用				4.2	0.30	2.5
1 昼光率		(共用部)エントランスホール:7.5% (住居部)Aタイプ:0.70%		5.0	0.60	2.0
2 方位別開口				-	-	3.0
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0
1 昼光制御		(共用部)庇により制御 (住居部):カーテン・庇(バルコニー)の設置		2.0	1.00	4.0
3.3 照度				3.0	0.15	3.0
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0
4 空気質環境				3.0	0.25	3.2
4.1 発生源対策				3.0	0.60	3.0
1 化学汚染物質				3.0	1.00	3.0
4.2 換気				3.0	0.40	3.6
1 換気量				3.0	0.50	3.0
2 自然換気性能		0.184(1/6以上確保)		-	-	5.0
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0
4.3 運用管理				-	-	-
1 CO ₂ の監視				-	-	-
2 喫煙の制御				-	-	-
Q2 サービス性能				-	0.30	-
1 機能性				2.4	0.40	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0
1 広さ・収納性				-	-	-
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0
3 バリアフリー計画				3.0	1.00	-
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0
1 広さ感・景観				-	-	3.0
2 リフレッシュスペース				-	-	-
3 内装計画				1.0	1.00	1.0
1.3 維持管理				3.0	0.30	-
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20	-
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				3.0	0.10	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		2種以上にB以上を使用し、Eは不使用		5.0	0.20	-
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-
2.4 信頼性				2.6	0.20	-
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-
3 電気設備				3.0	0.20	-
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり			-	-	2.2	0.50	
	1	階高のゆとり	-	-	3.0	0.60	
	2	空間の形状・自由さ	-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	
	1	空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	1.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1	地域性への配慮、快適性の向上	2.0	0.50	-	-	
	3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm] = 0.87	4.6	0.50	-	4.6
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1	節水	3.0	0.40	-	-	
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用	3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
	2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10	-	-	
	2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.20	-	-	
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	-	
	2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.10	-	-	
	2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1	有害物質を含まない材料の使用	3.0	0.30	-	-	
	3.2	フロン・ハロンの回避	3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	3.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			高効率機器の採用	3.8	0.33	-	3.8
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1	大気汚染防止	3.0	0.25	-	-	
	2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.50	-	-	
	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1	騒音・振動・悪臭の防止	3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	1.00	-	-	
	2	振動	-	-	-	-	
	3	悪臭	-	-	-	-	
	3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制	3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	-	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3	光害の抑制	4.4	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE®熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

- ・建築物を中高層(13F)にし、廻りの空間をできるだけ確保するように努めた

Q1 室内環境

- ・窓を大きくとり採光を効率よく取れるようにした

Q2 サービス性能

- ・将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用

Q3 室外環境（敷地内）

- ・外壁材(タイル)の彩度を落したデザインとし、周囲への太陽光の反射やグレアの軽減を図る

LR1 エネルギー

- ・日射遮蔽性を図り、断熱性能を高めるよう、テラス(ベランダ)の奥行を広く計画した

LR2 資源・マテリアル

- ・限りある資源を有効に利用する。ハロン消化剤を使用しない

LR3 敷地外環境

- ・ゴミの散乱を防ぐよう扉付の既製品を採用した

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 (仮称)健軍本町マンション 新築工事

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2017年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		74
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				80.7	0.40	32.28
Q1-2.1.2	外皮性能	1.0	0.05			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.05			
Q1-3.2.1	昼光制御	2.0	0.05			
LR1-1	建物外皮の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	4.6	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				65	0.20	13.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	3.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	2.5	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				70	0.20	14.00
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	3.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				75	0.20	15.00
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数